



# 週)報

2013~2014年度)) ) R I会長)ロン)D・バートン)  
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』  
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 956 回(7 月 16 日)例会の記録

国際ロータリー第 2570 地区 第 3 グループガバナー補佐訪問

点 鐘 栗原憲司会長  
合 唱 我らの生業  
第 2 副 S A A 栗原(成)君、益子君  
卓話講師 国際ロータリー第 2,570 地区  
第 3 グループ  
ガバナー補佐 室伏秀樹 様

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	26 名	75.00%	82.35%

#### 会長の時間

栗原(憲)会長

本日はガバナー補佐、室伏秀樹様にお越し頂きまして、ご指導を頂きました。ありがとうございました。狭山中央ロータリークラブは、会員が増強し、活気のあるクラブというお褒めの言葉を頂きました。会長職の日が浅く、まだ慣れておりませんが、1 年間の私の方針を述べさせて頂きました。

7 月になり、すぐにガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問と続きますが、皆様に協力頂きまして、大過なく、無事にやっていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

夏の俳句を一つ申し上げて締めくくりとさせて頂きます。私の先生である野澤先生の俳句です。

「夏未明 音の束縛 遠からぬ」

これは夏の朝、起きたら音が何処となく聞こえてきて、一日が始まる、そうした一日の始まる気分を詠んだ作品です。中央ロータリーも 7 月は最初の月で、最初から大きな行事がありますが、一年間一生懸命行っていききたいと思っております。



#### パスト会長の時間

栗原(成)パスト会長

本日は TPP のお話をさせて頂きたいと思えます。資料 1 枚目は TPP の資料となりますが、いわば全ての関税を取り払おう、環太平洋の国々の協定を結ぼうということが、TPP でございます。この資料は少し古く、カナダ等は TPP に加入しております。今も参議院選挙の真っ只中ですが、この TPP の問題につきましては、都内ではあまり論議が起きておりませんが、田舎の方に行きますと、かなり大きく取り上げられております。特に農業分野におきましては、相当な影響を受けるのではないかと心配されておりますし、また医療の分野でも、外国人労働者が入り易くなっていくということで、多かれ少なかれ影響を受けるのではないかとされておりまして、今日は農業分野について説明させて頂こうと思っております。



1 ページ目をめくって頂きますと、上の図が食料自給率の表でございます。カナダがトップで、平成 23 年度、日本は 39%の自給率となります。ほとんどが輸入物ということになるわけですが、輸入で一番多いのが小麦であり、米はほんの僅か、60 万トンくらいしか日本に入ってきてはおりません。しかし麦は 95%が輸入品でございます。下の図はカロリーベースでの食料自給率となりますが、これは年々下がってきておりまして、行く行くは戦略的にこの食料自給率を高めないと、食料が無くなった時に非常に大きな問題になると思われまして。

3 枚目は、農地の面積の比較でございます。日本は 456 万 ha、これは北海道の牧草地等は外れている数値となりますが、特にアメリカやオースト

ラリアの農地面積に比べると、1000 倍以上の開きがあります。こうした所で生産した牛肉、鶏肉、豚肉等は生産性がよいものですから、非常に安いものが入ってくるということでございます。

日本の特徴と致しましては、日本は山岳地帯が多く、農地に適している面積は 12.2%しかございません。それにも関わらず、今東京近郊の農地は空いてしまっております。これは収益が上がらないものですから、農家離れをしまして、荒廃が進んでおり、また田舎の方の山間部の棚田等も遊休地が多いということでございまして、これも大きな問題となっております。食料自給率に対して大きな問題となっているわけです。

将来の日本の農業を考えていった時に、どのような策があるのか、単に安心・安全だけではいけないわけで、このような問題があるのではないかと考えており、このようにした方が農家にとっては良いのではないかと考えております。

1 つは農地の集約です。農業法人を作り、拡大していくということですが、狭山市の例を取りますと、我々の仲間の宮岡宏太郎さんのところの 1 軒だけが、農業法人になっております。しかしなかなか法人化が進んでいないということが実状でございまして、この件に関しましては、各県、特に過疎が進んでいる地域は、農業特区のような制定をし、農地の集約化をすべきだと思います。しかしそれに対しまして農地法の問題がございまして、個人の農地の所有権が強すぎるわけです。そのために、農地の換地が嫌だと、飛び地にある農地を一つの場所にまとめればいいのですが、先祖伝来の土地だからと、集約ができないという抵抗感があるわけです。そして農業従事者におきましては所得や、また家畜を飼っている人たちは休暇が取れないという問題がありまして、例えば 1 週間旅行がしたくても、家畜に餌をあげなければならぬということ、若者がそうした場所から離れていってしまうという問題もあります。一方東日本大震災の時に、仙台平野のビニールハウスが流されたのを、テレビ等で見た方も多いと思いますが、あれは結果論でございまして、うまくビニールハウスや水耕栽培を考え、狭い面積で高収益のものを作っていくということも大切かと思えます。そして何よりも大切なことは、資本の充実、機械化を進めたいのだけれども資本がない、そうしたことも大切ですし、今年のように暑いと、水不足等の問題もありまして、私の所の農地も今カラカラに乾いております。これは資本があれば、深井戸を掘ってスプリンクラーで水を撒くということもできるわけですが、小さいことから大きいことまで沢山問題があるということが、現状の農業だと思えます。

これから若者が農業に積極的に入っていき、漁業の方は蓄養や養殖等が随分進みまして、漁業に復帰する若者が多いのですが、農業はなかなかうまくいっていないということが実状なようです。

私も勉強不足なところがありますが、今後若者が就業できるように、色々と研究していきたいと思っております。

## 幹事報告

宮野幹事

1. 「シェルターボックス」からの各ロータリークラブへの連絡についての承諾について
2. 秩父音頭まつり参加のご案内について
3. R 財団、恒久基金 / 大口寄付用証明書について
4. 前平岡ガバナー補佐より、会長・幹事会の会計報告について
5. 財団室 NEWS について
6. 「灯の川 2013」への協賛以来について
7. 回覧物 ハイライトよねやま 160 号  
尚寿会広報誌 86 号  
難民を助ける会 AAR ニュース

## 委員会報告

R 情報・雑誌) ) ) ) ) ) ) ) ) ) 片山委員長)

7 月号といいますが、R I の理事や全国のガバナーの色々な談話が出ておりますので、写真等で枚数も多く、普段と違うところがございます。

「横書」

5 頁、R I 会長のロン D. パートンさんがメッセージを出しております。「ロータリーを实践してみんなに豊かな人生を」ということで、色々書いてあります。

15 頁、R I 会長の 2013~2014 年度、国際ロータリーテーマについて書いてあります。その中の左側、写真の下、真ん中あたりに、「今日、ロータリーで目にする多くの多くは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。」ということが書かれてあります。

16 頁、R I の理事会メンバーの紹介が載っておりますので、一通り目を通して頂ければ有り難いと思っております。

19 頁~35 頁、我が国の各地区のガバナーの方針、メッセージ等が書かれてあります。2570 地区の中井ガバナーは 22 頁に載っております。「感謝されるガバナーへ」ということを述べてあります。

「縦書」

9 頁「鎌鼬はなぜ出ないのか？」とありますが、年齢的に私の小さい時には、祖父母等に何かをすると「鎌鼬がでるぞ」と言われました。鎌鼬とは架空の物で、実際にはおりません。昔言われたのは、つむじ風の中心の真空の部分に足などが入る

と、体の内圧の方が高くて、皮膚に亀裂が入り出血をするといったことでしたが、定かではありません。面白いことが書いてあります。

11 頁、「ロータリーに死はない」ということで、私も何回か読みましたが、面白いことが書かれています。

**社会奉仕) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) 佐藤委員長)**

10 月 19 日(土)に恒例のフリーマーケットが予定されています。お中元の季節になって参りましたので、いくつかフリーマーケットの方へご協力よろしくお願い致します。

## 「外来卓話」・・・・・・・・

**国際ロータリー第 2570 地区  
第 3 グループガバナー補佐  
室 伏 秀 樹 様**



皆さんこんにちは、第 2570 地区ガバナー補佐(所沢西 RC 所属) 室伏秀樹 です。1945 年 2 月 9 日生まれ、ロータリーに入会したのは 1989 年 6 月 7 日、ロータリー歴 24 年になります。

6 月末日付けの第 2570 地区の会員数は **1,707** 名となりました。当初今年度の地区予算は、1,750 名で組んでいました。

サクジ作戦は、今年で 2 年目を迎えます。その内容は、2012 年を初年度とし毎年純増 3%を達成しようというものです。サクセスジャパンから、RI 田中作次前会長の名前を本人諒解の下、もっています。

2570 地区では、52 クラブ中わずか 18 クラブの参加です。日本中の他地区・他クラブへの入会候補者の推薦をするというものでしたが、この本質上なかなか難しく現実的には低調でした。

しかし、それでは衰退を待つだけとなりますので、別紙資料をご一読いただき、常に増強に心がけていただきたいと思います。

昨年度 RI 理事のスマーズ氏はこう言われています。

「この 7 年間に世界のロータリークラブは 110 万人の新会員を迎えていたのです。どんどん入って

くる会員が次々出て行ってしまいます。どうも、クラブの多くがさびて穴だらけの古いバケツに化してしまっただけです。このいわゆる「自然減」の結果、ロータリアンであることの価値は低下し、ロータリーの公共イメージが損なわれ、各クラブの影響力も低下しています。クラブ会長に、勧誘の方法を教え、会員増強コンテストに奮い立たせても、長期的な変化は見られません。

今、ロータリークラブはある意味で「アイデンティティ(自己認識)の危機」に接していると言えるかもしれません。いろいろなロータリアンに、「ロータリーとは何でしょうか」と問いかけてみると、少し考えたのち、実に多種多様な答えが返ってきます。このように共通意識がないかのように見えるということは、ロータリーの中核的ジレンマであり、非常に重大な難問でもあります。ロータリーに一致したアイデンティティがないということは、ロータリーに方向性がないように受け取れます。自分たちがどういう団体なのか理解し対象層にこれを効果的に伝えることができないうちは、会員増強の問題は、解決できないのかもしれませんが、しかし、その解決に向かって私たちにできることがあります。それは、ロータリーの構築に注目することです。

ブランドとは、自分たちに対する期待であり、人々への約束、つまり自分たちがすることすべてにおいて、守っていく約束です。効果的なブランドは、その組織を際立たせてます。」

とされています。

## ニコニコボックス

室井秀樹様 初ガバナー補佐訪問です。よろしくお願い致します。

栗原(憲)君 第 3 グループガバナー補佐、室井秀樹様、ようこそお出で下さいました。ご指導よろしくお願い致します。

宮野君 ガバナー補佐の室井様、ようこそお出で頂きました。心より歓迎致します。

稲見君 第 3 グループ室井秀樹ガバナー補佐、ようこそお出で頂きました。よろしくお願い致します。

栗原(成)君 室伏ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。また、パスト会長の時間を務めさせていただきます。

中谷君 ガバナー補佐室伏秀樹様、本日はようこそいらっしゃいました。ご指導よろしくお願い致します。

吉川君 前回、お休みをしまして申し訳ございません。

